

「災害から母と子の命をまもる —アジアの取り組み—」

阪神・淡路大震災から15年、震災の教訓は活かされているか？ アジア6都市の担当官や学識経験者とともに、女性や子どもに配慮した防災のあり方について語り合しましょう。

平成22年

日時 **6月11日(金)**

13:30~16:00 (開場13:00)

参加費
無料



©UNFPA

場所 **神戸国際会館 9階大会場**

JR・阪急・阪神・地下鉄 各三宮駅から南へ徒歩5分

使用言語 日本語 / 英語 (同時通訳付)

プログラム **1部：プレゼンテーション**

- ① 「自然災害における母子保健—国連人口基金の役割」
国連人口基金アジア太平洋地域事務所上級職員
- ② 「アジア6都市の現状と課題」
チッタゴン (バングラデシュ)、ウエイハイ (中国)、チェンナイ (インド)、
オロンガポ (フィリピン)、ダナン (ベトナム) 及び神戸 (日本) の担当官及び学識経験者

2部：討論及び質疑応答

コーディネーター：池上 清子 (国連人口基金東京事務所長)

参加者の募集 **120名** (先着順)

■申し込み方法

- ◎平成22年5月21日(金)までに、インターネット (www.auick.org)、Eメール、ファックス、またはお電話で。
※受付時間：平日9:00~12:00及び13:00~17:00
- ◎Eメールまたはファックスで申し込まれる場合は、郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記してください。
- ◎複数で参加を希望される場合は、代表者の郵便番号・住所・氏名・電話番号及び合計人数を明記し、一括してお申込みください。
- ◎参加券 (はがき) をセミナーの約1週間前に送付いたします。

セミナーの趣旨

阪神・淡路大震災から15年目の2010年、ハイチ、チリを大地震・津波が襲いました。アジアもまた、2004年のスマトラ沖大地震・インド洋大津波、2008年の四川大地震、バングラデシュ、フィリピン、ベトナムの洪水、台風など、繰り返し自然災害を経験しています。災害の教訓をどう活かせばよいのか。災害時に弱者となりうる女性や子どもに配慮した防災のあり方について、国連人口基金の果たす役割とともに、アジア6カ国6都市の取り組みを紹介し、一般参加者も交えて話し合います。

財団法人 **神戸国際協力交流センター**
国連人口基金セミナー係

〒657-0087 神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館20F

申込及び
お問い合わせ先

PC www.auick.org
Mail unfpa2010@auick.org
FAX 078-291-0691
TEL 078-291-8031 (平日 9:00~12:00
及び13:00~17:00)